

慶長六年（一六〇一年）、徳川家康が東海道に宿駅伝馬制度を定め、街道の整備を始めてから四百年あまりもの歳月が流れました。

慶長九年（一六〇四年）には、江戸日本橋が五街道の起点となり、その後、五街道を中心に一里塚や並木などの施設が次々と整備され、東海道は日本を支える大動脈として、人・物・文化の交流に大きな役割を果たしてきました。

# 東海道四百年の歩みを踏みしめる

さまざまな歴史を運んだ東海道、この道を歩き、踏みしめ、道が果たしてきた役割、これからの姿を見つめましょう。



江戸を出て最初の  
休息地。  
厄除け大師への  
分かれ道。



## 現在の道を守っています

かつての東海道は、現在国道1号や15号として、人の移動や物流を支えています。横浜国道事務所ではこれら神奈川県内の主要な国道（神奈川県内の国道延長の約4割にあたる約258km）を管理しています。道路を安全で快適に使っていただくために、日々の点検やパトロールをはじめ、道路構造物の補修や修繕、清掃作業などを行っています。



道路パトロール

## 宿場マップについて

東海道には53の宿場が（神奈川県内では9宿）ありました。これらの宿場は旅の宿として繁盛し、現在もその周辺には当時の名残をとどめる史跡や名所が数多く残っています。そこで、このマップでは道中の見どころや自然、行事などを広く網羅して、歩きながら東海道の“むかし”と“いま”が楽しめるように神奈川県内の9宿を5冊に分けて編集しています。

なお、表示していますルートは概ね旧東海道に沿ったウォーキングルートであり、実際の旧東海道とは異なる場合があります。

川崎宿は、他の宿より遅れて元和九年（一六三三年）につくられました。

開設後は厄除けで知られる川崎大師信仰が広がると共に大いに栄え、旅人はもちろん多くの参拝客の往来で賑わいを見せました。また、幕末には下田から江戸へ向かったアメリカ総領事・ハリスも、ここに宿泊したといわれています。

現在、都市化や第二次大戦の戦火のため、当時の景観はわずか少数の寺院や石造物にその痕跡を残すのみとなっています。

まんねんや あと  
万年屋跡

奈良茶飯が名物だった往時の河  
崎万年屋の賑わいは『江戸名所  
図会』にも描かれています。

川崎市・幸区



### 1 六郷の渡し

慶長5年(1600年)、六郷川(多摩川)に六郷大橋がかけられました。貞享5年(1688年)に大洪水で流されて以来、明治7年(1874年)まで、渡し舟による渡河が続けられました。明治元年(1868年)、明治天皇の東幸の際には、舟橋を架けました。また、ここは長十郎梨のふるさとといわれています。



つで、十四代將軍家  
白したといわれてい  
之助の生家でもあ



させた小泉次大夫と  
した中興の祖・田中  
を称える「泉田二君  
。

### 6 宗三寺

宿内一の古刹。後北条氏の家臣であつた間宮豊前守信盛が中興、その法名から宗三寺と名づけられました。



### 7 稲毛神社

境内には樹齡一千年といわれる大銀杏や小土呂橋遺構、手洗石など川崎宿にまつわるものや、正岡子規、佐藤惣之助の歌碑などがあります。



### 4 田中本陣跡

当主の休愚(兵庫)は、六郷川の渡し舟の権利を譲り受け、その渡し賃を得て、傾いていた宿場財政を再建しました。享保6年(1721年)著した『民間省要』は、享保7年(1722年)八代將軍吉宗へ献上され、主張の一部は享保の改革でも取り上げられました。



### 5 一行寺

川崎宿の整備が進む頃に開創し、閻魔信仰で大いに賑わいました。



### 3 川崎稲荷社

社殿の下にはいわれのあるケヤキの大木が眠っているといわれています。昔、ケヤキの大木を切ったところ、ケガ人が相次いだので、そのお祓いのために切り株の上に社殿が建てられたといわれています。享保元年(1716年)、徳川吉宗が八代將軍となるために江戸へ向かう途中、立ち寄りました。



地図の凡例

旧東海道 宿内 一般国道

# 東海道 現代 遊楽帖

発ち、郷里の伊賀へ帰る途  
際に詠んだ句が書かれて  
17年に完成したポケットパ  
による惜別の句や絵図(東  
ています。

## 13 いちばいちりづか 市場一里塚

日本橋から5番目のもの。一里塚は街  
道をはさんだ両側にありますが、ここ  
は南側の塚だけが残されています。



## 10 ことろばし 小土呂橋の親柱

かつて、東海道と新川堀の交差点に  
あった石橋が小土呂橋。現在は暗きよ  
となっており、地名とこの親柱が残っ  
ています。



## 情報

日)  
スタ  
三祭)(8月初旬)  
日第1土曜日)  
月中旬)  
下旬)  
初旬)  
る場合もありますの  
確認ください。

## 12 せんねんじ 専念寺

紫式部の念持仏と伝えられる「市場観  
音」が奉られています。富士山から飛ん  
できたといわれる「夜光石」「お乳石」で  
も有名です。



## 11 くまの じんじゅ 熊野神社

徳川家康入国に際し、武運を祈った神社。  
社殿は赤穂義士ゆかりの宮大工、渡辺喜右  
衛門及びその子孫により造営されました。  
境内には江戸時代の俳人加舎白雄と大鳥  
夢太が、鶴見橋を詠んだ句碑があります。



## 8 さとうほんじんあと 佐藤本陣跡

宿内の本陣の一つ  
茂が上京の際、宿  
ます。詩人、佐藤悠  
ります。



## 9 みょうおんじ 妙遠寺

二ヶ領用水を完成  
二ヶ領用水を再興  
休愚(兵庫)の偉業  
功德碑」があります



15 つるみじんじや 鶴見神社

推古天皇時代の創建と伝えられ、昔は杉山大明神とも呼ばれていました。毎年、4月29日に民俗芸能「鶴見の田祭り」が行われます。



14 つるみ ばしかんもんせうせき 鶴見橋関門旧跡

安政6年(1859年)の横浜開港後、外国人に危害を加えることを防ぐため横浜への主要道路筋に設けられた関門の一つで、万延元年(1860年)に設けられました。



ばしょう くひ 芭蕉句碑とポケットハ  
元禄7年(1694年)、江戸の門人中、同道してきた門弟たちと別れています。現在、句碑の近くには一ヶ所があります。江戸の門人(海道分間延絵図)などの紹介を



生麦事件とは…

文久2年(1862年)、江戸から京都へ向かう途中だった薩摩藩の島津久光の行列が生麦村に差し掛かった際、横浜在住のイギリス人4人が行列の前方を乗馬したまま横切りしました。これに怒った一部藩士がイギリス人に斬りかかったという事件です。

この事件は、イギリスと日本の国際問題に発展し、翌年の薩英戦争勃発の原因となりました。明治16年(1883年)、鶴見の黒川荘三がリチャードソンの死を悼み、事件の風化を防ぐために、私費を投じて生麦事件碑を建立しました。

生麦事件碑



- 川崎 イベント
- かなまら祭(4月第1日)
  - かわさき舞祭(4月下旬)
  - かわさき大師サマーフェスティバル(7月第3月曜日・海の日の前日)
  - 川崎稲毛神社例大祭(7月)
  - かわさき阿波おどり(8月)
  - いいじゃんかわさき(10月)
  - カワサキハロウィン(11月)
  - かわさき市民祭り(12月)
- ※開催日時等は都合により変更される場合があります。主催者または市区へお問い合わせください。

# 東海道 知っ得版

## 鶴見のよねまんじゅう

「六郷渡れば川崎の万年屋、鶴と亀とのよねまんじゅう」と歌にも歌われている鶴見の「よねまんじゅう」は小麦粉ではなく米の皮で塩餡を包むのが新しく、人気を集めました。「よねまんじゅう」は現在、再現され販売されています。



## 17 とうふくじ 東福寺

子育て観音として、著名な寺です。寺の一角に、芭蕉の句碑も残されています。



## 16 そうじじ 總持寺

曹洞宗の大徳(寛文10年)に石川県の徳川家康が建てた。広くてなだらかな庭園が、建造物が立派にも最適。墓もあります。



### 宿場の施設とその役割紹介 \*

**【見附】** 宿場の門の役目で上方見附と江戸方見附があり、その間を「宿内」といいます。

**【本陣と脇本陣】** 公家、大名、幕府の公用の役人だけが宿泊することができました。本陣に泊まりきれない場合は、脇本陣が使用されました。

**【旅籠】** 一般の旅行者などが宿泊しました。

**【茶屋】** 旅人の休息のためのお店です。

**【問屋場】** 公用旅行者の荷物の運搬や飛脚の業務を取り扱うところです。\*「といやば」と「んやば」と宿場によって読み方が異なる場合があります。

**【高札場】** 幕府の掟やお触れを張り出すところで、人馬の代金も掲示されていました。

**【一里塚】** 街道の両側に行程の目安として、一里ごとに小高く盛り土をして、目印の木が植えられていました。

横浜市・神奈川区



## 東海道 現代 遊楽帖

### 麒麟横浜ビアビレッジ

ビールの歴史から製造過程まで、楽しく学べます。またここでしか飲めないオリジナルビールがあり、レストランや緑地庭園で休憩できます。